

たいいくたいかい 体育大会

し えん いん くまが い とも ちり
支援員 熊谷 智成

しみず おか がく えん がつ にち たいいくたいかい じっし
清水が丘学園では9月28日(水)に体育大会を実施しました。当日は晴天に恵ま
れ、心地の良い日となりました。諸事情により順延に次ぐ順延となり、見通しが
立ちにくい状況でしたが、児童らは本番に向けて練習を怠らず、より良い体育大会
にしようと頑張りました。その結果、みんな本番で練習の成果を出し切り、満足の
いく体育大会となりました。特に中学生は一丸となってソーランを踊り、小学生の
良い見本になりました。一つのことに向けてみんなで協力し、やりきるといことは
児童にとってかけがえのない財産になったことと思います。
今回の教訓をこれからの学園生活や卒業後に生かして貰えればと感じました。



<苦情受付状況>

6月～11月末までの苦情受付は 0件でした。

<寄付・寄贈>

アサヒ物産株式会社様、ADEKA明石工場様、(株)システムリースA様、(株)サン・フレイバー様、
海苔問屋協同組合様、兵庫ヤクルト販売株式会社様、小田垣様、谷田様よりご寄付いただきました。
ありがとうございました。



清水が丘 学園だより

令和5年2月 第48号

発行
社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団
兵庫県立清水が丘学園
明石市魚住町清水 2744
TEL 078-943-0501 FAX 078-943-6598
http://www/hwc.or.jp/shimizugaoka/



体育会 令和4年9月28日 (記事は4P)

1年を振り返って

治療課長 奥山 仁美

今年1月、10年に1度の寒波が到来し、学園も一面銀世界になり、余り目にしない光景に子ども達は寒さより珍しさに、頬や鼻を赤らめながら元気に雪遊びを楽しみました。そんな光景に思わずカシャッと一枚。子ども達の楽しんでいる姿を見て大きくなったなあと成長を感じる場面でした。

1年を振り返ると新型コロナウイルスの流行が続く中、子ども達は外出や行事の縮小、帰宅などの制限がありました。学園では感染症予防に配慮し、行事や外出等を工夫して行ってきましたが、子ども達にとって十分意味のある時間が過ごせたのでしょうか。「シャネーの法則」では「人生の中で感じる時間の心理的な

長さは年齢の逆数に比例する」と言っています。子ども達にとっての1年は、われわれ職員が感じるよりも、ずっと長く大きな意味をもつはずで、学園で過ごす時間は意味のある大切なもの、その点を心にとめて支援に当たる必要があると改めて感じます。今年卯年。「癸卯(みずのとう)」になります。この2つの文字の意味を合わせて、「これまでの努力が花開き、実り始める飛躍の年」と言われています。卒業する子ども達にとって、学園で過ごした時間が実り、そして新たな「歩み」を踏み出して欲しいと願っています。



修学旅行

小学生

支援員 田中 舞子

11月14日～15日、小学生修学旅行として広島・宮島に行ってきました。1日目は厳島神社の参詣と、もみじまんじゅう作りをしました。「自分で作ったもみじまんじゅうはうまい」としみじみと言っていたのが印象的です。

2日目では原爆ドーム、平和記念資料館を見学しました。戦争の凄惨さ、恐ろしさを知り、平和の尊さを改めて学ぶことができましたと思います。刺激が多いと語る子もいましたが、常に笑顔が絶えない旅行になりました。



中学生

心理治療士 松岡 佑季奈

10月19日～21日の3日間、三重・大阪・京都方面へ修学旅行に行き、各観光地でとても充実した経験をする事ができました。特にユニバーサル・スタジオ・ジャパンでは、普段静かに過ごしている児童が表情を輝かせながら「楽しかった！」と何度も繰り返すほど、大盛り上がり様子でした。天候に恵まれ、元気に修学旅行を楽しむことが出来ました。この思い出を胸に、残りの学園生活も楽しんでほしいと感じました。

学園祭

心理治療士 松岡 佑季奈

今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小の上ミニ学園祭として、学園の児童と職員のみで学園祭を行いました。児童を中心に、粘土や画用紙でお弁当やお寿司を作成したり、ピンボールやヨーヨーすくいなどのゲームを準備したりしました。模擬店当日は接客に緊張している児童もいましたが、いつもとはまた違う立派な姿を見ることが出来て、職員としてもほっこりとした時間となりました。



お楽しみ会

心理治療士 松本 愛奈

お楽しみ会を今年も開催することができました。オープニングとして職員が寸劇・ダンスを披露したあと、有志2組が歌を披露してくれ会場を大いに盛り上げてくれました。その後はチーム対抗ミニゲームを行い、子ども達の頑張りによって景品をゲットすることができました。恒例のケーキを食べ、プレゼントも受け取り、充実した1日となりました。



子ども達の日常

♪～小学生主催行事(エビ捕り)～♪



小学生男子で学園横の水路で川の生き物探しをしました。たくさんの川エビを見つけ、皆夢中になって捕まえました。

支援員 後藤 雄大

♪～清水フェスティバル～♪

しみフェスウィークと称し、三日間にわたり「屋台おやつ」「カレー作り」「水遊び」など様々な催し物を行いました。

支援員 小久保 州哉



しみやんほっこりーコマ



職員から一言 vol.4

1月24日は全国的に非常に強い寒波に見舞われ、清水が丘学園も数年ぶりにたくさんの雪が積もりました。子ども達は大はしゃぎで、みんなで雪合戦をしたり雪だるまを作り、通勤してきた職員を見つけると頭の上にはたくさんの雪を乗せていきました。

心理治療士 石井 大海

